



風上に学び 風土を活かす

昭和町 風土伝承館 杉浦醫院



アクセス



ルート①
車で中央自動車道
甲府昭和1Cから
別倉南を出たら種駒方面へ
甲府ハイバス(R20)に入り
四道5号・南アルプス方面へ
通行立体橋を右折し
かおり幼稚園東の橋手を左折
アルプス通りに沿って進み
スナゴオVasooの角を左折
約10m先左です

ルート②
車で甲府方面から
甲府ハイバス(R20)から
昭和ハイバスに入り
昭和公園入口交差点を右折
西条倉庫を左折し
運河川にお進み下さい

注) 当館専用駐車場へはアルプス通り側から
のルートでないとい入れませんので注意
下さい。わかりにくい場合は当館係員に
お尋ね下さい。

■お車

・国道20号沿いアピオ交差点より約5分

・中央自動車道甲府昭和インターより約5分

・JR甲府駅より約15分

■JR

・中央本線甲府駅より タクシー約15分

・JR身延線国母駅より タクシー約5分

〒409-3865

山梨県中巨摩郡昭和町西条新田 850-1

TEL/FAX 055-275-1400

昭和町 風土伝承館 杉浦醫院

施設のご案内



昭和町風土伝承館 杉浦醫院がプレオープンしました。
現在は、地方病資料館、地域交流のみじ館、庭園のみの
公開です。なお、並行して他の建物等の工事も進めてい
きますので、臨時閉館になる場合もあります。
事前の問い合わせ、申し込みをお願いします。

電話・FAX 055-275-1400

見学・利用案内

■プレオープン中は入館・入園料は無料です。

■庭園、石碑と地方病資料館の旧杉浦医院建物及
び休憩・交流施設のみじ館の**ガイド見学会**は、
毎週 火曜日・木曜日・土曜日です。

■午前見学会は、10時～と11時～の2回

■午後見学会は、13時30～と15時～の2回です。

■庭園散策や自由見学は、日曜、祭日を除く9時

から4時までご自由にどうぞ。

■「地方病」関係の映像資料も鑑賞できます。

昭和町風土伝承館 杉浦醫院の設立趣意

甲府盆地の南、昭和町一帯は、一昔前は「地方病」と呼ばれ、古くから恐れられた「日本住血吸虫病」の有病地でした。原因が不明で、地域特有の病気だったことから「昭和に嫁に行くときは、水杯で、死を覚悟した」とまで言い伝えられています。

江戸時代からこの地で、代々医業を営んできた杉浦家。その8代目健造、9代目三郎父子は、地域医療にその生涯をかけ、この地域に多かつた地方病撲滅の先駆者として、医学史と共に郷土史にも燦然と輝く業績を残されました。

地方病の医学的研究を組織化し、地方病は、巻貝に寄生する寄生虫によるものであることをいち早く発表した健造氏。その意志を継いで、地方病の治療法の解明と根絶に取り組んだ三郎氏。この父子協奏が、この地から地方病を撲滅したといっても過言ではありません。

今日の昭和町発展の礎とも言える、100年以上に及ぶ「地方病撲滅の闘い」は、昭和町のみならず山梨県の近代史を語る上でも避けては通れません。

昭和町では、町の歴史を後世に正確に伝えていくことが、次代を担う「ひとつぐり」には欠かせない行政の責務であると考え、杉浦健造・三郎父子の業績を顕彰し、合わせて行政・住民が一体になって取り組んだ「地方病撲滅の闘い」を語り継ぎ、水の町・昭和とその風土を伝承していく生涯学習施設「昭和町風土伝承館杉浦醫院」を開設しました。 2010. 11. 16.

昭和町教育委員会



『山梨県と地方病』

1996年(平成7年)2月、山梨県地方病撲滅対策促進委員会(会長=刑部源太郎 県医師会長)は、当時日本国内では、山梨県だけに残っていた、日本住血吸虫病について、「地方病の流行は終息し、安全と考えられる。」という報告書を天野県知事に提出しました。

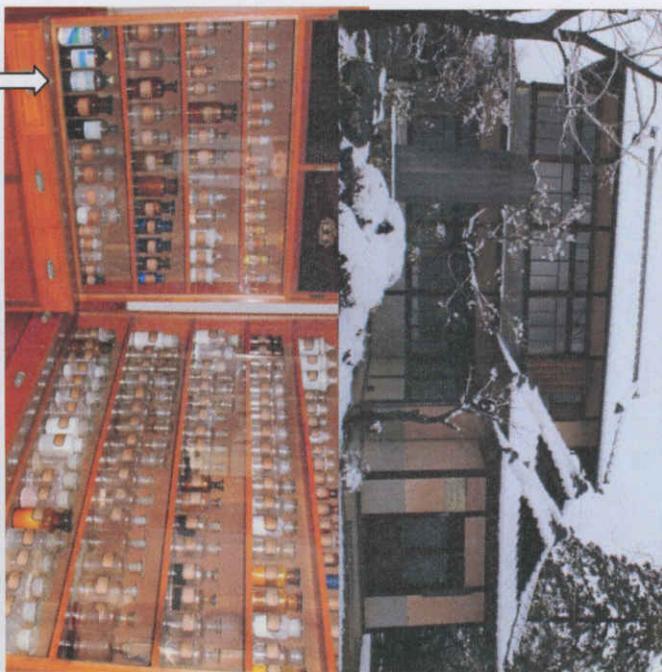
県はこれを受けて、「山梨県の地方病の流行は終息した」と「流行終息宣言」を出しました。住民を苦しめてきた地方病の対策に乗り出したのが明治14年、1世紀以上の115年を経て、やっと「流行終息宣言」に至ったこととなります。

日本では、広島県や岡山県、佐賀県などが発病地として記録されていますが、患者の8割近くを山梨県内で占めていたことから「地方病」という名前が一般的でした。山梨県

内でも釜無川の流域は、広大な湿地帯が形成され、気候もミヤリサイの棲息に適していたため甲府盆地一帯の約一万町歩に及ぶ流域の沼沢地には、ミヤリサイが大変な勢いで繁殖していました。従って日本住血吸虫病も多く、その恐怖は、想像を絶するものでした。



杉浦健造先生像



旧医院

休憩・地域交流棟

